

2月 2025 2月 25日発行



新しい年が明け、1か月程が経ちました。今年も笑顔いっぱいスタートできましたこと、嬉しく思います。
冬でも戸外が嬉しい子ども達は、五感を働かせて「寒さ」を味わっています。吐く息が白いのに気づき「なんか白い!」「湯気がでてる」と話したり、園庭のタイヤに氷ができていて「今日は寒いよ」と知らせてくれたり…手作りのビニール凧をとばして走ると「寒くない」ことも体感し、言葉で伝え合う姿が増えています。

<2月> 行事予定

3	金	節分会
10	金	避難訓練
11	土	建国記念日
13	月	身体測定 ひよこ
15	水	身体測定 りす
17	金	身体測定 うさぎ
23	木	天皇誕生日
24	金	現金徴収日
28	火	お楽しみ会

ロド先生とあそぼう →毎週木曜

お知らせ・お願い

○新型コロナウイルス感染症の予防対策について

皆様のご協力により、保育園で感染拡大することなく保育の継続ができておりますことに、心より感謝申し上げます。

ウィズコロナの生活を意識し、都度状況に合わせた対応を検討しておりますが、まだ不安は無くなりません。そのため、第5類への見直しが行われるという春頃までは、現在の対応を継続させていただきたいと思っております。

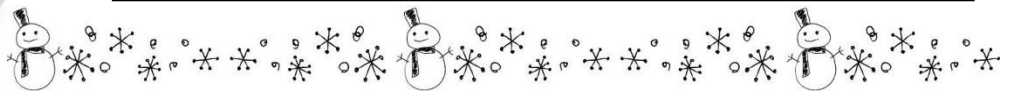
引き続きのご理解とご協力をお願いします。

○すべての物の「記名」の見直しについて

複数の子どもを限られた保育士数で対応するにあたり、個人の持ち物に「大きく」「分かりやすく」記名があることはとてもありがたいことです。反面、記名が「無い」「見つけにくい」「小さい」「兄弟や以前の持ち主のもの」ということにより、仕分けに時間がかかる等、困ることが増えています。

保護者の皆様にはお手間をおかけすることとなりますが、一度すべての持ち物について、誰が見ても分かりやすい記名となっているかご確認いただき、ご協力をお願いします。

思いを大切に



昨今の様々な事件を受け、本園でも**子どもの人権擁護**について研修を実施しました。子どもに対し、良かれと思ってした対応が、実はそうでないこともある、と学び共通にすることができました。

例えば、1歳児の玩具の取り合いの場面。「玩具を取った子」と「玩具を取られた子」が存在します。大人からみれば、単純に前者が「悪い」と判決を出したくなるところですが… その子はまだ、他人が持っているものを貸してもらうためにはどんな手続きがいるのか、そのルールを知らなかったり理解できていなかったりします。ただ「その玩具が欲しい」と思い、そのために自ら行動しただけ。もし大人が「ダメでしょ!」と叱って玩具を取り上げたら、**玩具を取られた子の思い**だけが大切にされ、**玩具を取った子の思い**は否定されてしまいます。「玩具がほしい」と思ったこと自体、いけないと感じてしまうかもしれません。この場合園では、まず取られた子の「悲しい」「イヤだ」の気持ちに十分寄り添い、取った子の「玩具が欲しかった」気持ちにも同じように寄り添います。その上で、保育士は取られた子の悲しい表情から気持ちを感じ取るよう話したり、「かして」と声をかける方法を伝えたり、「どうしようか」と一緒に考える等、教育的な要素を取り入れ対応をしていきます。**子どもへ身体的な苦痛を与えない**ことはもちろんですが、大人の**何気ない言動で子どもの心に苦痛を与えることがある**ことを改めて認識するいい機会となりました。このような「寄り添い」こそが、大切だと実感しています。